

## モモの病害虫の発生状況（6月）

調査地点：福島地域9園地、伊達地域9園地

（いずれも調査品種は「あかつき」）

### （1）モモ灰星病

果実での発生は確認されませんでした。果実の成熟とともに感染しやすくなりますので、防除の徹底を図りましょう。

### （2）モモせん孔細菌病（「ゆうぞら」は3園地調査）

一部のは場で、新梢葉での発生を確認しました（図1）。また、「ゆうぞら」では果実発病も確認しています（図2）。

再度園地を見回り、発病部位は見つけしだい除去し、園外に持ち出すなど適切に処分しましょう。薬剤散布は、降雨前の実施を基本とし、散布間隔があきすぎないように実施しましょう。早生～晩生種の混合園では、特に収穫前日数に十分注意しましょう。

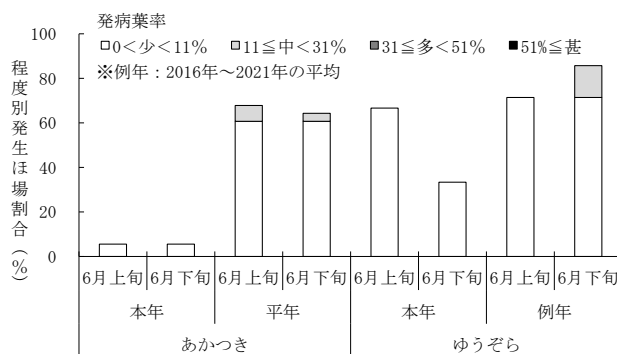


図1 モモせん孔細菌病の発生状況（新梢葉）

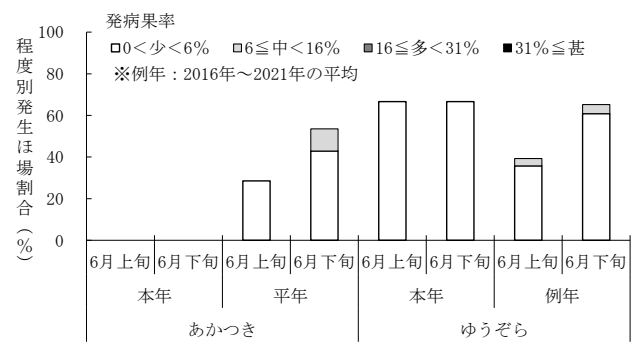


図2 モモせん孔細菌病の発生状況（果実）

### （3）モモハモグリガ

新梢葉での発生は確認されませんでした。

### （4）アブラムシ類

新梢寄生の発生は、確認されませんでした。

### （5）ハダニ類

新梢葉寄生の発生ほ場割合は、平年並でした（図3）。

要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

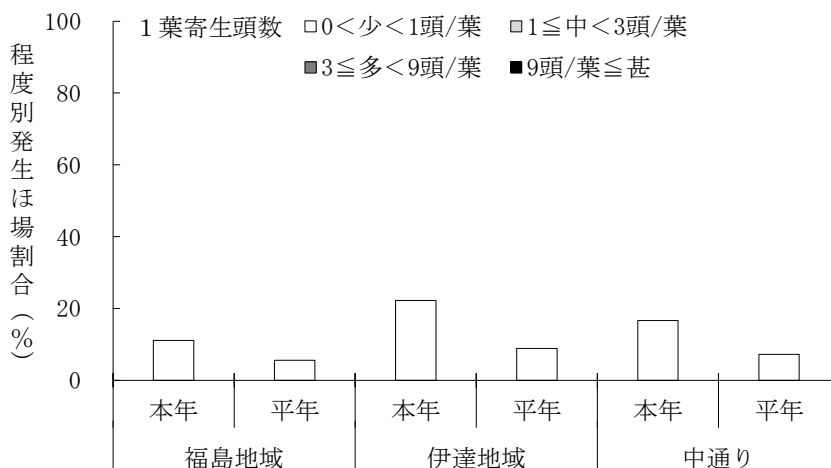


図3 ハダニ類の新梢葉寄生状況